

2002年4月



10,...9,...8,...7,...”ヒューストン、発射！

## 飛んで行ったボンベ

それはどのようにして起こったか？

圧縮ガスボンベは巨大な量のエネルギーを内蔵しており、誤った取り扱いをされたり、落とされたり、激しく傷つけられる機会を待ち構えている。もしこのエネルギーが急激に解放されると、ボンベはジェットエンジンのようにふるまう。いや、“のように”ではなく、それはまさに燃焼プロセスを伴わないジェット機である。壊れたバルブからの放出蒸気はジェット機を、ここではボンベを放出蒸気の反対の方向に動かす力を生み出す。幸いなことに、このボンベは部屋を横切るかわりに上方へと旅立った。写真が物語るように、これに伴う力はかなりのもので、このエネルギーが急激に放出された時には財産や人々に大きな被害をもたらす力を秘めている。

その事故とは....

あるオペレーターが二本のFM-200消火ボンベの一本をラインから取り外そうとしていたと思われるが、物事は計画通りには進まなかった。左の写真を見てわかるように、1本しかない。対の片方を取り外しているあいだにそのボンベは何とか逃げ出して見事な逃亡をやりとげ、完全に天井を貫いて屋根の上へと飛び去った！右の写真を注意深く見て欲しい。そうすれば屋根の修理が必要であることを認めるだろう！

あなたが探しているものは？

あなたが次に圧縮ガスボンベを使って作業をするときにはこの記事と写真を思い起こすこと。ボンベは信じられない大きさのパワーすなわちジェットパワーを保有している。それが、あなたが耳にしているこれらの予防対策—ボンベには鎖をかけておくこと、移動する時にはバルブカバーがかかっているか確認すること、メーカーの推奨する作業方法に従うこと、等—をすべて実行することが重要であるゆえんである。そして特に、バルブがもぎ取られる様なことはあってはならない。もしそんなことが起きたら、“ヒューストン、問題発生” となりかねない。